

令和4年度 第2回 部活動の地域移行のあり方検討委員会 議事要旨

令和4年12月15日（木）15:00
神戸市産業振興センター 801 会議室

1. 事務局説明

- (1) 部活動実態調査アンケートの実施（概要）
 - ・趣旨、対象、実施時期、方法（KICSによる配信→各中学校→生徒・保護者・教員）
- (2) 中学校における休日部活動の地域移行について
 - ・現状と課題、国が示す方向性、中学校部活動と地域クラブ活動、今後の取り組み
- (3) 部活動実態調査アンケートの質問項目

2. 各委員による意見

- (1) アンケート実施に向けて
 - （委員）アンケートを実施し、子供や保護者のニーズを知ることが必要である。第2弾、第3弾のアンケートを実施することによって理解が深まり、アンケート内容も精選される。
 - （事務局）回答にあたっては、地域移行や、現在実施している拠点校部活動や推進事業の取組を知っていただく必要がある。
 - （委員）それらを紹介するHPに誘導する工夫をした方がよい。イメージが漠然としていたり、理解度にバラツキがあると、欲しい回答が得られない。
 - （事務局）アンケートについては、実施時間の確保や回答方法の難しさがあるので、教員のサポートが必要だと考えている。学校現場も忙しい時期になってきているのでお願いをしにくいですが、できるだけ負担のないような実施を依頼したい。
 - （委員）地域移行の説明資料は中学生と保護者で内容を変えるべき。アンケートを通じて段階的に情報提供を行う必要がある。
- (2) アンケートの集計方法について
 - （委員）アンケート結果を分析するにあたっては、クロス集計により、例えば若い人たちにどういう傾向が見られるのかが分かれば参考になる。
- (3) アンケートの内容について
 - ①全体について
 - （委員）少し項目が多いと感じる。中学生用でも回答するのに5分以上かかった。
 - （事務局）項目数の多さや文言の難しさはあるが、ある程度承知の上で進めている。
 - （委員）「文化芸術施設」という表現はイメージできない可能性があるため、具体例を出した方がよい。
 - ②中学生用アンケート
 - （委員）中学生が理解できる内容かどうか。
 - （委員）将来、活動の場を提供できるかどうか分からない、「スケートボード」や「ストリートダンス」

等の具体的な表記は避けた方がよい。

(委員) 中学生向けに費用面の具体的な質問は不要。不安な点は丁寧に聞くべき。

③小学生用

(委員) 部活動をしたことがない小学生に、イメージを持たせることができるか。

(委員) 小学生の目線に立った質問項目を作らなければならない。小学生用のアンケート内容は、あくまで、今何をしているか、何がしたいか、継続をしたいかでよいのではないか。4年生向けは厳しいのでは。小学4年生に聞いて意味があるのか。

④保護者用

(委員) 保護者の経済的負担の可能性に関する表記は、工夫が必要である。

(委員) 保護者向けだけでも、指導者とボランティアとの違い等を分かりやすく説明して、どういった費用を負担することになるのか理解してもらう必要がある。

⑤学校向け

(委員) 聞きたいことが盛り込まれているように思う。教職員は、部活動の地域移行について理解した上で回答いただくことが重要となる。

(委員) 在籍する学校の子供であれば、指導したいと思う先生もいる。自宅の近隣地域で教えたいか、働いている学校で教えたいかを尋ねてみるのはどうか。活動の経験や競技経験の有無も知りたい。

(委員) 高校の先生や小学校の先生にも指導したい人はいる。そういった人たちに聞いてみることも必要ではないか。

(4) その他の意見

(委員) 吹奏学部には、非常に多くの経費がかかる。地域移行にも多額の費用が必要になる。指導者にも報酬が必要である。

(委員) 習い事には5万円出費できても、学校の部活動にそれだけの費用を出せるかどうか。保護者の価値観や家庭状況にもよる。楽器を買えない家庭もある。

(委員) 学校の状況に合わせて部活動を減らすことと、地域移行を並行して行っていく必要がある。

(委員) 平日と休日の活動の連携について議論する必要がある。

(委員) これといった正解はない。神戸市としてどういうスタンスで地域移行を進めていくのか、今後決めていく必要がある。